

## Q 放課後児童に新環境を

## A 実施に向けて対応協議

高橋 征勝 議員  
(春緑クラブ)

▲学校内での放課後学童クラブ（東京都世田谷区）

**Q1** 第5次滝沢村総合計画の基本政策の一つに「子育てしやすいまちをつくります」とあります。

計画書では放課後児童クラブの施設の老朽化と狭あい化の問題や、さらにも今後とも子育てなどに関する需要がふえてくると予測されることなどから、それら対策の戦略方針として、18年度を目標に学校施設などを活用した新たな放課後児童

の居場所づくりの方針を構築したいと以前答弁されています。

まさに新しい環境づくりに福祉部門、教育部門が枠を越え動き出したと地域でも大いに期待しております。

そこでその進捗よく状況と、もし問題があるとするればその課題解決に何が必要か伺います。

**A1** 放課後児童健全育成事業は、「次世代育成支援滝沢村行動計画」においても主要な事業であると考えており、現在村内には9つの放課後児童クラブがあり、それぞれの父母会に運営を委託しております。

施設の狭あい化や老朽化というハード的な問題が顕在化してきており、問題を解決するひとつの手段として、学校等の公共施設を活用する方法を模索してきたところですが、ハード的な問題解決に向けては、放課後児童クラブの運営にかかるソフト的な問題の解決も図る必要があることから、各団体の現状や要望等を把握し、実施に向けて調整を図ってまいります。

なお、18年度には、滝沢小学校区に地元のNPO法人が新たに「子どもの居場所・地域子ども教室」を開設する予定であり、今後とも引き続き地域の特性や実情を考慮し、学校や実施主体の関係者と調整を図りながら、各地域ぐるみで放課後児童の居場所づくりを展開できるよう努力してまいります。